



全国学力・学習状況調査の活用に関する取組の振り返り

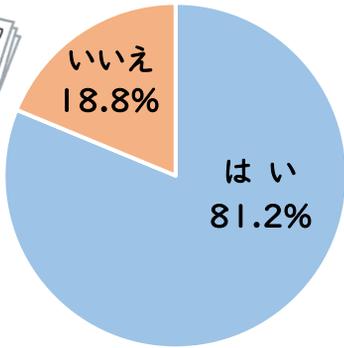


令和5年9～10月に実施した「『全国学力・学習状況調査』の活用状況に関するアンケート」(任意)に御協力くださり、ありがとうございました。アンケートの回答結果をもとに、調査の活用に関する取組を振り返ります。

① 調査問題を解きましょう。

Q: 教科に関する問題を解き、内容と出題の意図を確認しましたか。
(対象:全教職員)

問題を解くことで、どんなことがわかりますか?



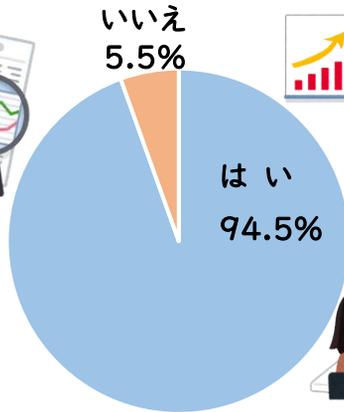
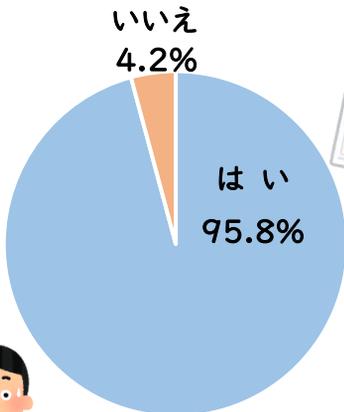
児童生徒の「つまずき」を予想し指導の工夫を図ることができ、結果提供を待たずに、すぐに授業改善に取り組むことができます。また、授業展開を意識した問題構成になっているので、調査問題を生かしてそのまま授業することもできます。

② 調査結果を確認しましょう。

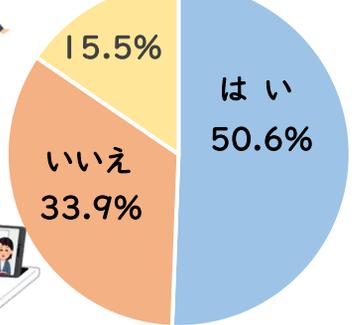
Q: 教科に関する調査の自校の結果を確認しましたか。
(対象:全教職員)

Q: 質問紙調査の内容と自校の結果を確認しましたか。
(対象:全教職員)

Q: S-P表を活用し、実態に即した指導方法の検討をしましたか。
(対象:全教職員)



S-P表を知らない



調査結果のデータが多く、見方がよくわかりません。

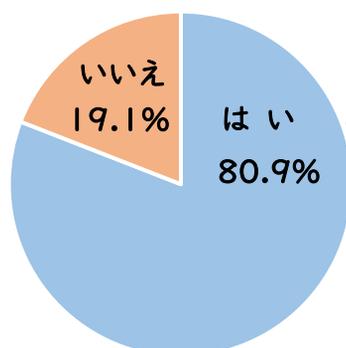
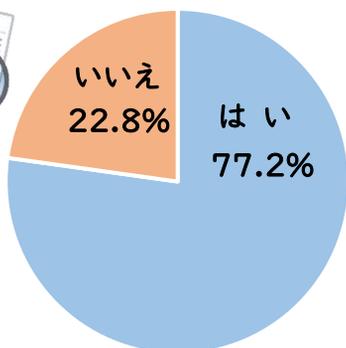
文部科学省から提供される結果データは情報量がとても多いです。ですから、その見方を事前に理解しておくことで、児童生徒の実態を把握することができ、先生方の授業改善につながります。そこで、千葉県総合教育センターが配信している「全国学力・学習状況調査の活用に係る動画コンテンツ」をぜひ御覧ください(YouTubeで限定公開しており、URLは各学校にお知らせしています:令和5年11月10日付け総教セ第772号を御確認ください)。



③ データを共有して、授業改善に取り組む環境を整えましょう。

Q: 調査や結果に関連するデータをファイルし、職員全体が活用できるようにしましたか。
(対象:教務主任、研究主任等)

Q: 報告書や授業アイデア例など、文部科学省からの資料を職員全体に周知しましたか。
(対象:教務主任、研究主任等)



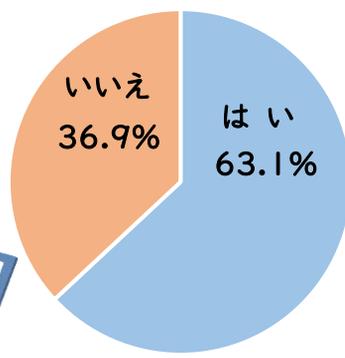
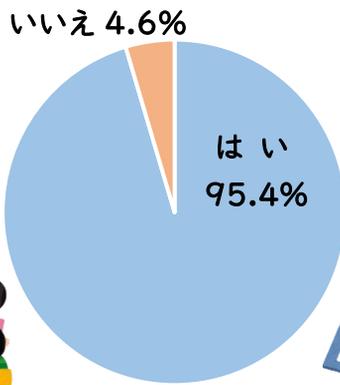
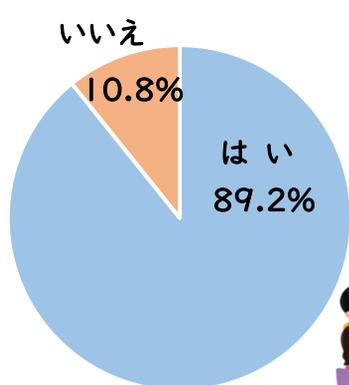
共有フォルダやクラウド等を活用してデータを共有化しておくことで、各教員が必要な時に閲覧したり、取り出したりすることができます。また、校内研修等、学校全体で協議する際にも、効率化を図ることができます(セキュリティ対策やルール作りをするなど、学校の実態に応じて活用してください)。

④ 学校経営の視点の1つとして活用しましょう。

Q: 教育計画の作成に当たり、これまでの調査内容や結果を参考にしましたか。
(対象:管理職)

Q: 教科に関する調査と質問紙の調査結果を学校経営の指針や校内研修の主題検討の参考にしましたか。(対象:管理職)

Q: 保護者や地域の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の公表を行いましたか。
(対象:管理職)



学校経営に当たってはさまざまな視点をもつことが大切ですが、その1つとして、是非この調査を活用してください。以下の場面での活用が特に期待されます。

- 教育課程の編成や、校内研究の主題設定、児童生徒の実態把握
- 地域や保護者に対する学校の現状の共有や、学校評価への活用



まとめ

子供たちの学力向上と、よりよい学校づくりに向けて、全国学力・学習状況調査を有効活用してください。なお、千葉県総合教育センターwebページに「全国学力・学習状況調査活用の手引き」を掲載していますので、ぜひご覧ください(右のQRコードを「読み取る」あるいは「クリックする」ことでアクセスできます)。

